

伊勢湾貧酸素情報（第 2 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

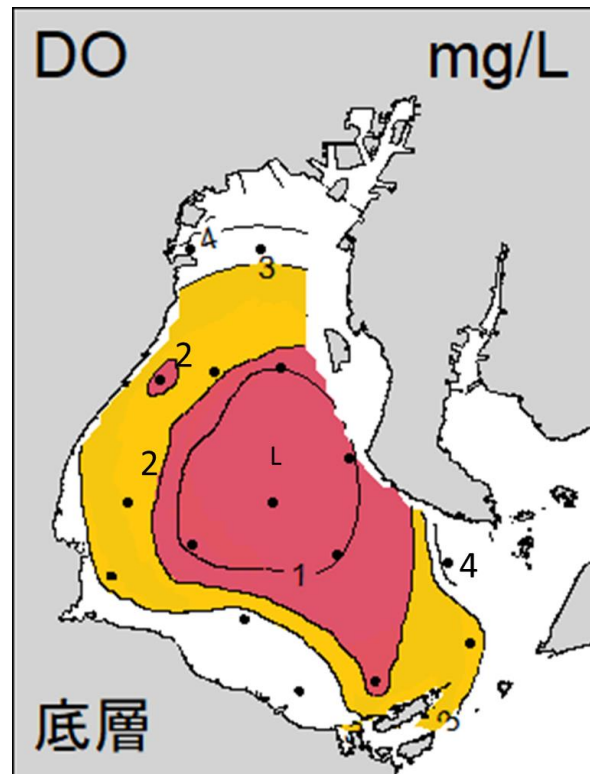
伊勢湾の中央部を中心に 2 mg/L 以下の貧酸素水塊が確認されました。

7 月 22 日の調査結果

7 月 22 日の漁業調査船「あさま」の浅海定線観測によると、水温は表層で 28.0～31.8℃、10m で 23.3～26.4℃、底層で 18.7～26.3℃の範囲にあり、平年と比べて表層、中層、底層共にかなり高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 8.5～13.1 mg/L、10m で 2.1～5.4mg/L、底層で 0.1～4.0 mg/L の範囲にあり、平年と比べて表層はかなり高め、10m は平年並、底層は三重県沿岸部を中心にやや高め、湾中央部を中心に低めとなっていました。

貧酸素水塊は三重県沿岸部では概ね解消していますが、今後も高い気温が予想されており、海水温の上昇に伴って、貧酸素水塊の範囲が広がる可能性があります。操業にあたっては、貧酸素水塊の動向に十分に注意してください。



底層貧酸素水塊分布図